

第3回 新潟医薬品安全性研究会
2016年9月10日

アレルギー性鼻炎の治療法と スギ舌下免疫療法の導入について

新潟市民病院 耳鼻いんこう科
橋本茂久



アレルギー免疫療法

(お薬による治療や外科治療とは違う位置づけ)

①皮下免疫療法

以前から減感作療法と呼ばれておこなわれてきた

皮下に抗原を注射

唯一完治の可能性のある治療法

毎週治療に受診する必要がある

注射による痛みがある

→これらを何とか改良できないか。。。。。。

アレルギー免疫療法

②舌下免疫療法

皮下注射の免疫療法の欠点を解消し、安全に行う方法として開発された

舌下に投与するお薬

(注射の必要がない、頻回の受診がいらぬ)

2014年10月8日

スギ花粉症舌下免疫療法が保険適用

2015年の段階で全国では約40000人が治療

2015年

ダニの舌下免疫療法治療薬が保険適用

2015年 全国でまだ約3000人程度

免疫療法

それでは舌下免疫療法を始める前に

患者さんに自ら治療を行っていただく意識が大切

具体的なパンフレットなども含めて十分時間をかけて説明し、
治療を理解していただく

- ・抗原を投与するので、アレルギー反応は通常のお薬より出現する可能性が高いことを説明
- ・ではなぜ舌下免疫を行うか
最終的に可能なら治癒を、endopointを高く求める薬を減らしたい
- ・完治は2割程度、効果は8割、効果のない人もいること

免疫療法

それでは舌下免疫療法を始める前に

- ・少なくとも2年以上継続していただく
数年以上継続すれば終了後もつづく
- ・人によってはあんまり頑張りすぎないことも
全国での継続率78%程度
- ・どのような方におすすりめか
将来の妊娠出産時の薬服用が不安な方
受験の時期にスギ花粉症が不安な方
少しでもお薬を減らしたい方 など

免疫療法

舌下免疫療法の副作用

内服後30分が多い:それ以降でもおこること

副作用として多いのは

- ・舌下浮腫
- ・口がかゆい・ピリピリする・違和感
- ・鼻炎症状が出る
- ・咳が出る
- ・喘息が出た:相談、中止かどうか判断
- ・蕁麻疹がでた:処方している抗ヒスタミン薬を内服、中止か判断
- ・アトピー性皮膚炎が悪化した:軽ければ継続、ひどければ中止か判断

免疫療法

実際のスギ花粉症における舌下免疫療法

対象患者

スギ花粉症であることが確定している12歳以上の患者 (RAST:スギに対する特異的IgE抗体陽性)

禁忌

近いうちに妊娠を希望する患者

冠動脈狭窄で副作用時エピネフリン投与が危険な患者

シダトレンの投与によりショックを起こしたことのある患者

重症の気管支喘息患者

悪性腫瘍、または免疫系に影響を及ぼす全身疾患 (自己免疫疾患など) →**慎重投与へ**

β遮断薬 (降圧剤) とステロイド内服患者

導入開始時期

7月～12月 (スギ花粉飛散時期は開始しない)

全身状態のチェック

- ① 自身で舌下に薬剤投与
- ② 薬剤は十分な量が入っているため、最初5回プッシュして薬液が出ることを確認し投与。毎回1プッシュして家でも投与する。
- ③ 外来で再度舌下免疫療法を説明 (パンフレット②:シダトレンを服用される患者さんへ)
- ④ 2分口腔内に、その後嚥下。30分間院内に在院 (診察室前の椅子で待機)、舌下免疫療法の資料 (IC用資料、アプリ紹介) を
- ⑤ 30分後確認 (血圧・脈拍)
- ⑥ 副作用出現時のカードを渡して当院を記載していただき2週後受診
- ⑦ 初回投与2週後受診、副作用がなければ増量する。維持期になれば、3か月に1回程度の受診

免疫療法

実際の臨床での対応(あくまで当院での対応)

- ①急性感染症・喘息発作・体調が悪いとき:無理せず中止
- ②抜歯・口内炎:当日のみ中止、口内炎が遷延したら相談を
- ③たくさん抗原のある人:副作用出現率高い
- ④OAS:効果が乏しい
- ⑤服用: やほい朝がいもかも(夜は病院しまっている)、
ただし中学生は部活で走ったりスなので夜かも
- ⑥治療中の妊娠:継続可能(中止したら最初から)
- ⑦インフルエンザ:おこなって構わない(一緒にはしない)

免疫療法

実際の臨床での対応(あくまで当院での対応)

- ①旅行: 1週間以内であれば休薬可、増量期は不可
- ②舌下直後の注意点: 激しい運動を避ける。
長風呂や過度の飲酒も避ける。
食事・飲水、歯磨きは投与後5分間はおこなわない
- ③投与時にこぼしてしまったら: 追加しないで翌日同量から
- ④多く投与してしまったら:
数噴霧程度であれば問題ないことが多い
翌日は続きからおこなう
- ⑤2分以内に飲み込んでしまったら: 増量期であれば、翌日同じ量から
- ⑥喘息が出た: 喘息がコントロールできるまで中断、
コントロールできれば再開可能
- ⑦じんましんが出た: 処方している抗ヒスタミン薬を服用